



各 位

上場会社名 株式会社 大木
 代表者 代表取締役会長兼社長 松井 秀夫
 (コード番号 8120)
 問合せ先責任者 業務本部長 宮本 正博
 (TEL 03-3947-2232)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年11月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	173,145	734	1,336	650	54.68
今回修正予想(B)	176,507	800	1,400	800	68.72
増減額(B-A)	3,362	66	64	150	
増減率(%)	1.9	9.0	4.8	23.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	168,102	702	1,267	612	51.04

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	170,679	1,142	600	49.98
今回修正予想(B)	173,993	1,200	700	60.13
増減額(B-A)	3,314	58	100	
増減率(%)	1.9	5.1	16.7	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	165,708	1,074	464	38.68

修正の理由

当第3四半期連結累計期間におきまして、当社グループは、高齢化の進展とともに美と健康に関するニーズを対象に、スキンケア群、健康維持摂取品群という大カテゴリーに継続して力を入れて頑張っており、加えて、一昨年7月より、快適生活用品事業部を新たに立ち上げ、主として、単身・高齢世帯をターゲットとした品揃えの充実も進めて参りました。また、広域化する有カドラッグストアとの取引関係を引き続き強化し、同時に、異業態との取引の開拓・深化にも積極的に取り組み、更に、かねてより力を入れて参りましたプライベートブランド商品及びMD(マーチャンダイズ)商品の開発と供給、ならびに非価格競争のできる商流力アップに努めましたことにより、売上の増加を実現する事が出来ました。営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、増収効果に加え、MD商品への取組み等による粗利率の改善や、物流関係を中心とする生産性の向上及び経費削減に継続して注力いたしました結果、増益となりました。通期の業績予想につきましても、当該、第3四半期実績を織り込み修正することといたしました。

以上